

科目	観光事業論	担当	傍嶋 則之	履修学年	3年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

- ① 観光事業論と言うと行政施策の観が強いが、今回の授業では特に観光ビジネスの意味に注力し、観光の仕組みや観光事業全般への理解を深める。
- ② 観光事業に携わるために必要な知識と資格等について知ってもらいたい。
- ③ 観光事業の社会的・経済的役割を把握し、観光の楽しさとやりがいを体得してもらいたい。

【履修注意】

- ① 毎回、講義後に、小レポート(感想・質問・希望等)を提出してもらう。
- ② 授業中、質問を投げかけ、意見を聴取するので、積極的な姿勢で授業に臨んでもらいたい。

【評価方法】

・復習レポート・期末試験60%、出席(遅刻)・レポート・受講姿勢40%

【試験について】

復習レポート(第8回または9回目の授業時)と期末試験(第16回目)を実施する。
再試験対象者の条件:出席条件(10回)を満たし、不合格者のうち総合評価点が45点以上の者。

【予習・復習】

毎回、予習として課題を課すので、それをしっかりこなすこと。さらに、日々のテレビ・新聞・雑誌等の情報にアンテナを張り、そこから観光と関わりのある情報を自分で取捨選択する習慣をつける。

【教科書】

・購入教科書なし、パワーポイントで対応。

【参考書】

「観光事業論講義」・「観光事業論」・「観光学概論」(ミネルヴァ)、「観光ビジネス論」(同友館)、「旅行ビジネス論」・「観光社会学」(明石書店)、「観光のまなざし」遠藤英樹

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	観光ビジネスの構図	「講義内容の説明」と「受講の心構え」、「観光とは何か」
2	観光ビジネスの経営	「現代社会と観光」「観光を学ぶと見えてくるもの」「観光学」
3	観光ビジネスのマーケティング	「通常のマーケティングと観光マーケティング」「活動の実際」
4	観光の財務と人的資源管理	「日本のホテルの財務と人的資源管理」
5	観光資源の保護と適正利用	「観光を構成する要素」「観光事業の意味と仕組み」「地域振興」
6	観光情報とサービス提供	「観光資源の意味」「観光資源と観光対象」「観光対象の特徴」
7	観光市場	「観光産業の定義と種類」「観光産業・観光ビジネスの特徴」
8	観光行動	「観光行動のメカニズム」「観光客の購買行動意思決定」
9	観光行政	「基本的なあり方」「観光政策の内容と観光行政施策」「国と地方」
10	観光ビジネスに対する公的規制	「公的規制の意義」「旅行業法」「運送・宿泊業法」
11	旅行業	「旅行業」「旅行業の歴史」「旅行業の商品と形態」「国家資格」
12	航空輸送業・クルーズ事業	「日米欧州の航空業界」「クルーズ業界の歴史・展望」
13	鉄道・バス輸送事業	「交通運輸業」「観光と交通の関わり」「観光交通ビジネスの特性」
14	ホテル業・旅館業	「宿泊産業」「宿泊産業の歴史と発展」「諸種の宿泊施設の区分」
15	飲食・土産品業、テーマパーク業	「飲食施設」「スキー場」「観光土産品と土産品業」「テーマパーク」
16	期末試験	15コマの復習・確認・総まとめ